

新和小学校 音読のすすめ

2011. 10. 11

三郷市立新和小学校

今年度新和小学校では、国語科の研修を進めています。学力検査や埼玉県「3つの達成目標」の検証の結果、「読む」ことに関する事項に課題があることに着目し、方策を考えました。

その中で、音読カードの見直しも行いました。書式をそろえたり、学年に応じて言葉を変えたりしてあります。継続的な取り組みにより、声の大きさ、速さ、抑揚などの音読の基礎的な力を確実に伸ばしていきます。この力が、文章を読み取る力にもつながります。

年度途中の変更で申し訳ありませんが、ご了承ください。



①音読を文章理解の中心にすえ、家庭でも音読練習をさせましょう。

- ・文章の読解を目指した学習でも、音読でつまずいては、満足な読解はできません。音読練習を中心に据えて家庭学習に取り組むよう、音読カードの活用を図っています。ぜひご家庭で音読練習に取り組んでください。
- ・他の教科でも音読をさせることで、題意をとらえる力や論理的な思考力も高まります。ぜひ取り組ませてください。

②毎日聞いてあげましょう。

- ・音読を上手にするコツは、毎日聞いてあげることです。少しずつでも、継続して音読に取り組むことで、確実に上達します。少しでも時間をとって、必ず聞くようにしてください。

③声を変えて読ませてみましょう。

- ・音読を効率よく上達させるには、工夫が必要です。声の出し方を工夫して読むことで、筆者の考えや登場人物の気持ちを考えられるようになり、読解力との相乗効果も期待できます。まずは大きな声ではっきりと文を読ませてください。大きな声で読めるようになったら、ぜひ工夫させてください。

④ほめ言葉をかけたり、アドバイスをしたりして評価してあげましょう。

- ・上手に読めたところや上達したところなど、どんな小さな点でもほめることで、音読に対する意欲が向上します。観点をはっきりさせて評価することも大切です。また、音読カードのチェックは、必ず聞いてあげた人が行い、ふり返りをさせてください。

⑤何度も、繰り返し音読をさせてみましょう。

- ・繰り返し読むことで、言葉や文章が頭に入り、語彙力が向上します。また、記憶力も向上します。慣れてきたら、暗唱にまで高めていけるといいですね。

音読を聞くポイント（1・2年生）



よくできたこと、上手にできたことをほめてください。

大きく口をあけて、大きな声ではっきり読んでいるか見てあげてください。



声の大きさや、強弱、会話文の読み方などに工夫があれば、素晴らしいですね。

何度も繰り返し読むように励ましてください。低学年では、たくさん読むことが一番大事！



音読を聞くポイント（3・4年生）



毎日繰り返し読むように励ましてください。「継続は力なり」です。

口をしっかりと開け、はっきりとした発声・発音で読んでいるかどうか見てあげてください。



声の強弱や抑揚、リズムを工夫して読めると、素晴らしいですね。

適切な音量や速さで読んでいるか聞いてあげてください。



音読を聞くポイント（5・6年生）



毎日続けることが大切です。「継続は力なり」です。励ましてください。

口をしっかりと開け、はっきりとした発声・発音で読んでいるかどうか見てあげてください。



抑揚や間を工夫し、話すように読めると、素晴らしいですね。

会話文、地の文（会話以外の文）を読み分けられるようになると、読解力もアップしますよ。

